

財務省「森友文書」改ざんは、誰が何の目的で行ったのか？！

今こそ、佐川氏と安倍昭恵総理大臣夫人の証人喚問を！！

昨年2月から国会で追及してきた森友学園問題は今月に入り大きく進展しました。2日に朝日新聞が森友学園への国有地売却に関わる決裁文書が改ざんされている疑いがあると報道し、9日に昨年の国会で森友学園の取引に関する文書を「廃棄した」と答弁していた財務省前理財局長の佐川宣寿国税庁長官が辞職。12日に財務省は決裁文書14件が改ざんされていることを認めました。



<改ざん後の昨年2月下旬に答弁する佐川氏>

付いたより広汎な国民運動を推進すべく、平成10年6月に設立され本。

お、国会においては、日本会議と連携する組織として、超党派による「議国会議員懇談会」が平成9年5月に設立され、現在、役員には特別で麻生太郎財務大臣、会長に平沼赳夫議員、副会長に安倍晋三総理ら

森友学園への議員等の来訪状況

平成20年11月	中山成彬議員（衆・維・比例九州）講演会
平成25年9月	平沼赳夫議員（衆・維・岡山3区）講演会
平成25年12月	日本維新の会女性局（三木圭恵議員、杉田水脈議員、小百合議員（いずれも衆・維・比例近畿）等）視察
平成26年4月	安倍昭恵総理夫人 講演・視察

<安倍総理や総理夫人名の記載もあるが削除された>

いったい誰が何のためにこのような前代未聞の公文書改ざんを行ったのでしょうか。麻生財務大臣をはじめ財務省は、「理財局の一部の職員が」「国会での答弁が誤解を受けることとならないようにするために行った」と一部の官僚に責任を押しつけています。民進党をはじめ野党は、「国会審議の信頼と前提を覆す、前代未聞の異常事態である」と訴え、政府・与党の責任で空転した国会の事態の收拾に向けた提案をするよう求めています。今こそ、佐川宣寿氏と安倍昭恵総理大臣夫人に国会で真実を語ってもらうべきではないでしょうか。